

令和 8 年度 学校経営環境分析書

仁方中学校区 校番 1 学校名 呉市立仁方小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	O (支援的要因)	S (強み)	内部環境
	T (阻害的要因)	W (弱み)	
	【地域】 ・伝統的な産業・伝統的文化があり学習に活用できる。 ・地域行事が盛んである。(祭り・マラソン・町民運動会等) ・ゲストティーチャーやボランティアとして学校教育に協力していただける方が多い。日常的に温かく児童を見守ってくださっている。 【保護者】 ・学校教育にボランティアとして協力していただける方が多い。 ・保護者主体の活動が活発である。	【学校】 ・生徒指導交流や研究・研修の充実を図り、協力的・組織的に取り組むことができる。 ・1小1中で小中連携が行いやすく、系統的な取組を推進できる。 【児童】 ・明るく素直な児童が多い。 ・高学年が低学年のサポートをすることができる。 ・指示されたことは、きちんとこなそうと努力することができる。	支援的要因と強みを生かした活動・取組は ○小中一貫教育 ・学習指導・生徒指導における取組の連携 ・学びの主体性の喚起 ・思考力・判断力・表現力を高めるための手立て(基礎学力) ○地域の教材の開拓と活用 ○高学年を中心に ・規範意識の向上 ・安全・安心な風土を高める ・縦割り班無言掃除、着ベル・黙想の徹底 ・あいさつの励行
	【地域】 ・地区によって、児童の人数や年齢構成に大きな差がある。 ・災害危険区域が多い。 【保護者】 ・家庭教育(基本的な生活習慣や学習習慣、生活上のマナー等)に対する意識の差が大きい。 ・家庭の背景が様々で、児童の心理的不安が高まるケースもある。	【学校】 ・勤務時間外在校時間が多い。教材研究の時間の確保が難しい。 ・教材・教具・備品等の整理・管理が不十分なところがある。 【児童】 ・学力・体力・精神力(レジリエンス)・自己肯定感の二極化が見られる。 ・表現力を支える基礎学力が定着していない。 ・無言掃除や黙想ができない児童がいる。 ・遅刻児童が多い。一定数の不登校傾向児童がいる。	○学力向上 ・カリキュラムマネジメントに基づいた実践と改善 ・生活場面と結び付けた単元の学習展開 ・基礎学力の定着 ・補充学習(スキルタイム・スマイルタイム等)の充実 ・読書活動の推進 ○防災教育の深化 ・実践的避難訓練の実施 ○保護者連携 ・家庭教育に対する支援と啓発 ○業務改善 ・行事や取組の精選 ・月1回の定時退校日の設定 阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

2 重点課題

- ① 生活をよりよくしようと、自分の考えを表現する力を培う指導・支援
- ② つまづきに応じた支援の工夫による基礎・基本の定着
- ③ 規範意識の向上
- ④ 安全・安心な風土の高い学校
- ⑤ 「自分の命は自分で守る」力の育成
- ⑥ 業務改善の推進